

市議会議員
かけのまち子
電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員
みわ 陽子
電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



No.541 2023.12.14
日本共産党江南市委員会

あすの江南

元市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
元市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP

一般質問

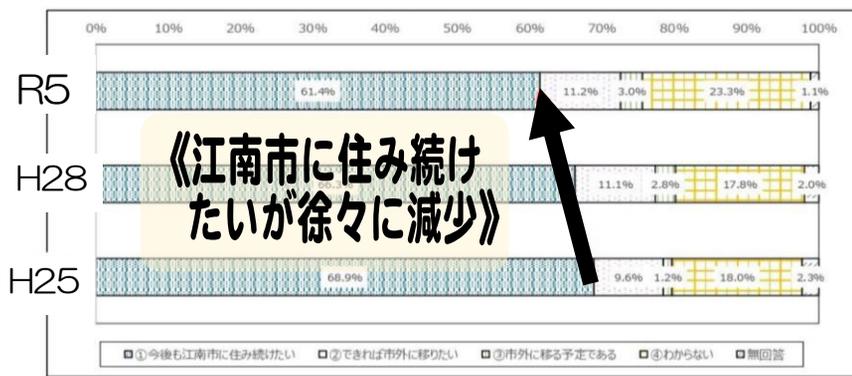
かけのまち子議員

公共交通の立て直しを

みわ 陽子議員

ラーケーションの日、県民の 日学校ホリデーの見直しを

◆過去調査との比較 市民満足度調査結果から



《江南市に住み続けたいが徐々に減少》

市民満足度調査で、住みやすいと感じる市民が減り、江南市から転居したい人の割合が徐々に増加しています。(上図) その理由で、とびぬけて多いのが「公共交通が不便だから」でした。

この深刻な結果を受け止め、第6次総合計画後期基本計画に公共交通の利便性向上をしっかりと位置づけること、市民参加のプロジェクトチームを作り、新たな公共交通の導入、総合的な公共交通の見直し・立て直しを急ぐよう求めました。

「検討部会を新たに設置。迎車料金200円を市が負担する」と答弁

答弁は『外部委員で構成する「公共交通検討部会」を新たに設置し、多くの事業者を交え、江南市の地域特性に適した交通システムを検討していく。委員の市民公募は、運行想定エリアや主なターゲットとする年代等を絞って行う』でした。

来年度中にはプロジェクトチーム(検討部会)が設置される見込みですが、事業者の意見ばかりが強くなるように、市民参加が保障され、傍聴もできるようにと強く要求していく必要があります。

名鉄タクシーが11月16日から300円の時間指定予約料金を徴収し始めた件への対応として、現在、個人負担の迎車料金200円を市の負担に変更するよう求めました。来年度から、いこまいCARと福祉タクシーについて市が迎車料金を負担できるよう調整中との前向きな答弁がありました。

11月27日の県民の日やラーケーションとして平日に2日間、家族と一緒に学ぶという休日を愛知県が設定しました。土曜日や日曜日に働く保護者が増えたので子どもと一緒に過ごすためという説明でした。

しかし学校現場からは、子ども達がいつ休むかわからないので、行事やテストなどの予定が立てにくい。休んだ子の分の給食費の返金事務が大変などの声が出ています。

また出かけられない家の子が辛い思いをする問題などを紹介し、来年度は実施を見送るべきと、質しました。

「保護者や子ども、教職員にアンケートをとり、その結果から改善すべき点を見つけ、来年も実施する方向」との答弁でした。



不登校生徒の居場所づくりと支援の充実を

江南市は小・中学校の不登校児童・生徒が全国平均に比べてかなり多くなっています。

教室に入れない子ども達の居場所づくりが大切であり、各中学校のサテライト教室と古東小と宮田小につくられているサポートルームの指導の様子をたずね、今後他の小学校にも作っていくことを確認しました。また市内のフリースクールの様子を紹介し、子ども達の居場所になっていることを確認しました。



「布袋ふれあい会館のお風呂の存続を」506筆が提出され、委員会で不採択に

12月議会に、「布袋ふれあい会館のお風呂の存続を求める請願書」が506人分の署名とともに提出されました。(右写真) 12日の総務委員会で審議されましたが、賛成はなく不採択になってしまいました。(党議員団は総務委員会の所属ではありません)

「お風呂がある事で友達もでき、足の具合も良くなり元気に過ごさせている。ぜひ残して」と、20年間お風呂を利用する83歳の女

性が懸命に意見を述べられましたが、願いは届きませんでした。

不採択の理由は、利用者の減少と維持費の多さ。特定の少数利用者のために多額の財政負担は困難との冷たい見解でした。

委員会終了後の委員協議会で、市が代替策を説明。「60歳以上の市民に1年間、すいとびあ江南のお風呂を130円で利用できるよう補助する。交通費補助はなし」とのこと。布袋からすいとびあ江南までのバス代を考えると、車に乗れない人は利用困難なことは明白。これでは代替策とは言えません。